

ウォッチ 操作ガイド 3559

CASIO®

目次

注意事項

- 安全上のご注意
- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 電池交換について
- 金属バンドの駒詰めについて

はじめに

- 各部の名称
- 画面の表示
- モードを切り替える
- 暗い所で時計を見る

時刻合わせについて

- 時刻を合わせる

ワールドタイム

- ワールドタイムを確認する
- ワールドタイム都市を設定する

アラーム

- アラームをセットする
- 時報をセットする
- アラームや時報を解除する

潮の干満・月齢

- 現在の潮の干満、月齢を確認する
- 日にちや時刻を指定して潮の干満と月齢を調べる
- 使用場所を設定する

ストップウォッチ

- 計測する
- スプリットタイムを計測する
- 1・2 着を同時に計測する
- オートスタート機能を使う

タイマー

- 時間を設定する
- タイマーを使う

その他の設定

- 報音フラッシュ機能を設定する
- ボタンの操作音を設定する

補足

- 都市一覧
- 仕様一覧

困ったときは

注意事項

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

 記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は分解禁止)。

 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。

 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●電池について

 ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない

 本機をスクーバダイビングに使用しない。
本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない

 本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

注意

●お手入れについて

 ケース・バンドは常に清潔にして使う。
ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて

 時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。
きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

 とくとき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境 (長時間の装着や汗をかいた場合など) によっては、皮膚 (肌) に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚 (肌) を休ませてください。

●ご使用にあたって

 時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

 時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

 小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

 電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。

 時計本体 (裏ぶたを含む) やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。

夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。

なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
 - 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意:**
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

●液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リューズやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リューズや回転ベゼルの回し、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
－ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂(外装)部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりすることがあります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

●最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は「仕様一覧」に記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

●電池の消耗

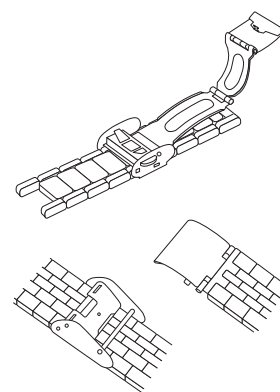
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

●本製品の特長

●潮の干満・月齢

日時を指定して、潮の干満や月齢を調べることができます。

●ワールドタイム

世界 29 タイムゾーンの時刻を表示できます。

●アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

●ストップウォッチ

1/100 秒単位で 24 時間まで計測できます。

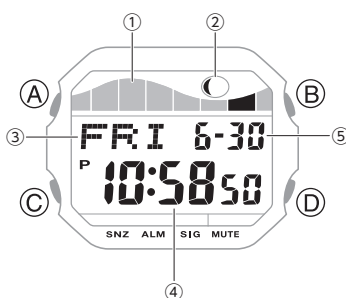
●タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① タイドグラフ
- ② ムーングラフ
- ③ 曜日
- ④ 時・分・秒
- ⑤ 月・日

A ボタン

各モード表示中に 1 秒以上押し続けると、設定画面に切り替わります。

B ボタン

押すと、ライトが点灯します。

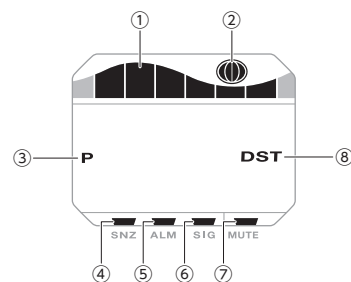
C ボタン

押すごとに、モード(機能)が切り替わります。

D ボタン

各設定画面を表示中に押すと、設定を変更できます。

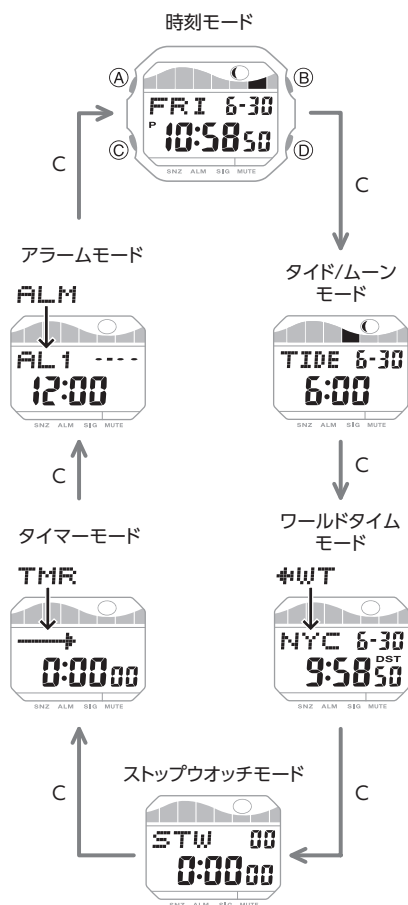
画面の表示



- ① 現在時刻のタイドグラフ(潮の干満)を表示します。
- ② 今日の月の形(ムーングラフ)を表示します。
- ③ 12 時間制表示で午後のときに点灯します。
- ④ スヌーズアラームがオンのときに点灯します。
- ⑤ アラームがオンのときに点灯します。
- ⑥ 時報がオンのときに点灯します。
- ⑦ 操作音がオフのときに点灯します。
- ⑧ サマータイムのときに点灯します。

モードを切り替える

C ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。



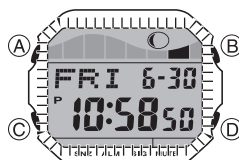
暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくできます。

●ライトを点灯させる

B ボタンを押すと、ライトが点灯します。

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。



重要

- ライトを頻繁に使用するとバッテリーの持続時間が短くなります。

参考

- 以下の状態のとき、ライトは点灯しません。
 - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき

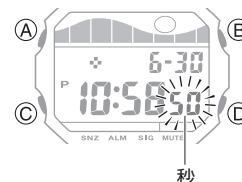
●点灯時間を設定する

ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。

🔄 [モードを切り替える](#)

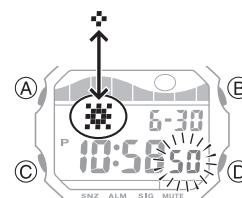
2. A ボタンを 1 秒以上押し続け、「秒」が点滅したら指を離します。



3. B ボタンを押して、点灯時間を選びます。

[✦]: 1.5 秒点灯します。

[✳]: 3 秒点灯します。



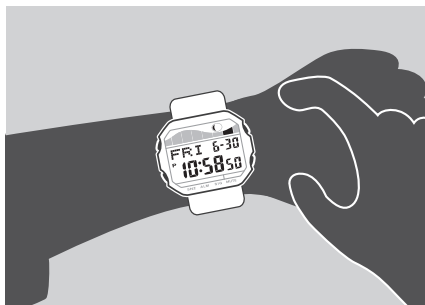
4. A ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

時刻合わせについて

日付や時刻を合わせます。



時刻を合わせる

日付、時刻、ホームタイムの時差を合わせます。

●ホームタイムの時差を設定する

この時計を使用する場所を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

1. 時刻モードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

2. A ボタンを 1 秒以上押し続け、「秒」が点滅したら指を離します。



3. C ボタンを押します。

4. D ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。

- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [On]
常にサマータイムで表示します。



5. C ボタンを押します。

6. B または D ボタンを押して、ホームタイムの時差を変更します。

- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- ホームタイムの時差 (タイムゾーン) については、下記をご覧ください。
🔗 [都市一覧](#)

7. A ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

参考

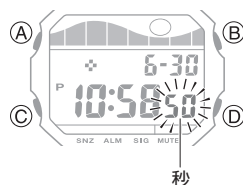
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●日時を設定する

1. 時刻モードにします。

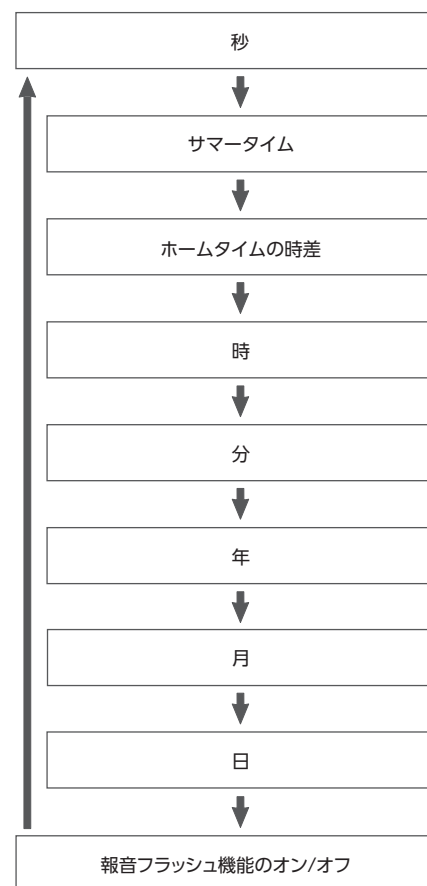
🔗 [モードを切り替える](#)

2. A ボタンを 1 秒以上押し続け、「秒」が点滅したら指を離します。



3. C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。

- C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



4. 日時を変更します。

- 「秒」を設定する場合: D ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。30~59 秒のときは、1 分繰り上がります。
- それ以外の値を設定する場合: B または D ボタンで値を変更します。
B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

5. 手順 3、4 を繰り返して、日時を設定します。

6. A ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●12 時間制/24 時間制を切り替える

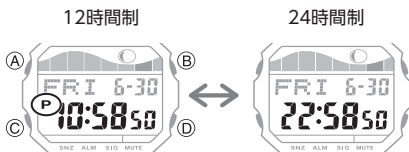
時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。
[🔍 モードを切り替える](#)

2. D ボタンを押して、12 時間制または 24 時間制を選びます。

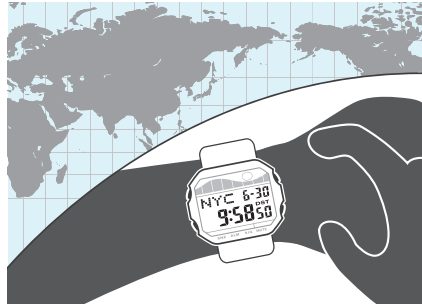
D ボタンを押すごとに、12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。

- 12 時間制表示で午後のとき、[P] が点灯します。



ワールドタイム

世界 48 都市 (29 タイムゾーン) の時刻を知ることができます。



ワールドタイムを確認する

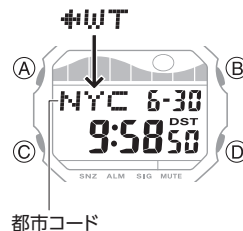
1. ワールドタイムモードにします。

[🔍 モードを切り替える](#)

ワールドタイムモードに切り替えると、ワールドタイム都市の都市コードを表示します。

- D ボタンを押すと、都市コードが切り替わります。
- 都市コードについては、以下をご覧ください。

[🔍 都市一覧](#)



ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

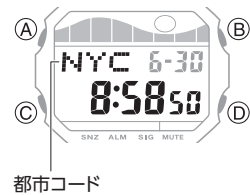
1. ワールドタイムモードにします。

[🔍 モードを切り替える](#)

2. D ボタンを押して、設定する都市コードを表示します。

- D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 都市コードについては、以下をご覧ください。

[🔍 都市一覧](#)



3. サマータイムの設定をする場合は、A ボタンを 1 秒以上押し続けます。

サマータイムを設定すると、[DST] が点灯します。

- A ボタンを 1 秒以上押し続けるたびに、スタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。



参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- サマータイム設定は、選択している都市に適用します。他の都市には影響しません。

アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。通常のアラームを2つ、スヌーズ機能が付いたアラームを1つ設定できます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

- スヌーズは、5分おきに7回音が鳴ります。



- 報音フラッシュ機能がオンの場合、アラーム・時報の報音に合わせてライトが点滅します。

🔊 報音フラッシュ機能を設定する

アラームをセットする

時・分・月・日のセットの仕方によって、さまざまなアラームの設定ができます。

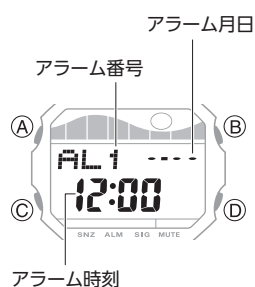
●時・分・月・日の一部だけセットする

- 時・分のみセットした場合
毎日、指定した時刻にアラームが鳴ります。
- 月・時・分のみセットした場合
指定した月に、毎日、指定した時刻にアラームが鳴ります。
- 日・時・分のみセットした場合
毎月同じ日の指定した時刻に、アラームが鳴ります。

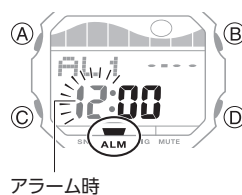
●時・分・月・日すべてセットする

指定した日の指定した時刻に、1回だけアラームが鳴ります。

- アラームモードにします。
🔊 モードを切り替える
- D ボタンを押して、セットしたいアラームの番号([1]、[2]、[SNZ])を表示させます。

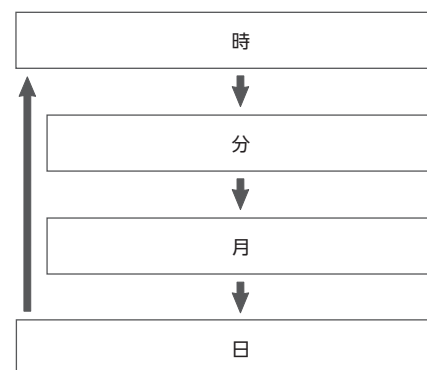


- A ボタンを1秒以上押し続けます。
「時」が点滅します。



- C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。

- C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



- B または D ボタンを押して、値を変更します。

- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 「月」をセットしないときは「-」を、「日」をセットしないときは「-」を表示させます。
- 「時」をセットする場合、12時間制で表示しているときは、午後に[P]が表示されます。



- 手順4,5を繰り返して、日時を設定します。

- A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず2~3分間経過すると、セット状態が解除されます。

●アラーム音を確認するには(モニターアラーム)

アラームモードでDボタンを押し続けると、押している間、アラーム音が鳴ります。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

スヌーズは、5 分おきに 7 回音が鳴ります。スヌーズを止めるには、[SNZ] を解除してください。

🔗 [アラームや時報を解除する](#)

参考

- セットした時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
- アラームモードのとき、何も操作せず 2~3 分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

時報をセットする

1. アラームモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

2. D ボタンを押して、時報 ([SIG]) を表示させます。



3. A ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。

- オンにすると、[SIG] (時報) が点灯します。



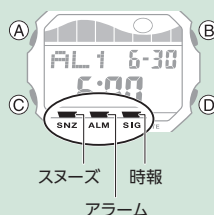
アラームや時報を解除する

アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

参考

- 1 つ以上のアラームまたは時報をオンにすると、該当する表示が点灯します。
- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。

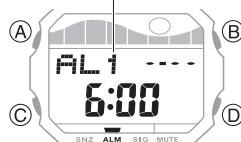


1. アラームモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

2. D ボタンを押して、セットしたいアラームの番号 ([1]、[2]、[SNZ]) または時報 ([SIG]) を表示させます。

アラーム番号または時報



3. A ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。

- A ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。
- オフにすると [ALM] (アラーム) または [SIG] (時報) が消灯します。

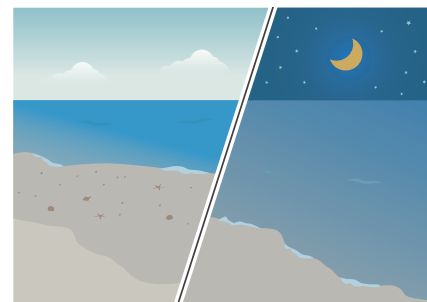


参考

- [ALM] (アラーム) が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、[ALM] (アラーム) が消灯するまで手順 2, 3 を繰り返してください。

潮の干満・月齢

ホームタイムを設定している都市の潮の干満や月齢を調べることができます。



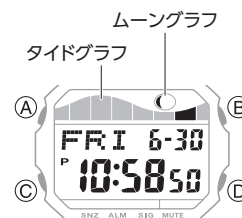
重要

- 表示される結果はおおよその目安です。航海などには使用しないでください。
- 潮の干満や月齢を調べる場合は、あらかじめ使用する場所のデータ (時差・経度・月潮間隔) を設定してください。

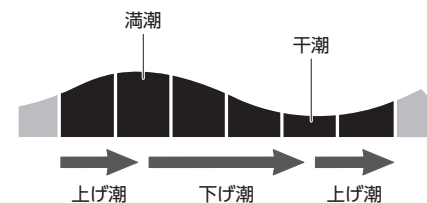
🔗 [使用場所を設定する](#)

現在の潮の干満、月齢を確認する

時刻モードのとき、現在時刻のタイドグラフとムーングラフが表示されます。



タイドグラフの見かた



ムーングラフと月齢の見かた

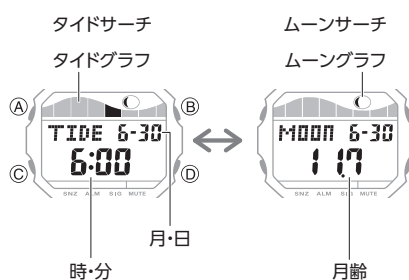
月の形	月齢	表示
新月	0.0~1.8 27.7~29.5	
	1.9~5.5	
上弦	5.6~9.2	
	9.3~12.9	
満月	13.0~16.6	
	16.7~20.2	
下弦	20.3~23.9	
	24.0~27.6	

- 上表は、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形です。月の左右どちらが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。なお、南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に表示します。

日にちや時刻を指定して潮の干満と月齢を調べる

日にちや時刻を指定して、潮の干満(タイドグラフ)や月齢を調べることができます。

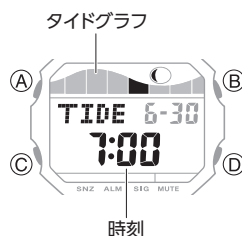
1. タイド/ムーンモードにします。
 モードを切り替える
 タイド/ムーンモードに切り替えると、タイドサーチまたはムーンサーチを表示します。
2. A ボタンを押して、タイドサーチとムーンサーチの表示を切り替えます。



- タイドサーチまたはムーンサーチは、前回最後に表示した画面が最初に表示されます。
- タイドサーチの初期設定は、「午前 6 時」です。

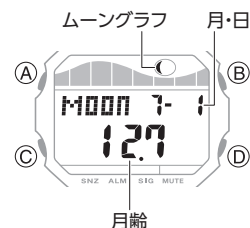
● 当日の各正時(00 分)のタイドグラフを確認する

1. タイド/ムーンモードにします。
 モードを切り替える
2. A ボタンを押して、タイドサーチを表示します。
3. D ボタンを押して、タイドグラフを確認したい時刻を選びます。
 - D ボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。
 - D ボタンを押し続けると、早送りできます。

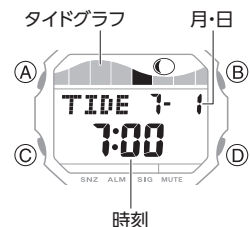


● 日にちを送って確認する

1. タイド/ムーンモードにします。
 モードを切り替える
2. A ボタンを押して、ムーンサーチを表示します。
3. D ボタンを押して、月齢を確認したい日にちを選びます。
 - D ボタンを押すごとに、1 日ずつ進みます。
 - D ボタンを押し続けると、早送りできます。

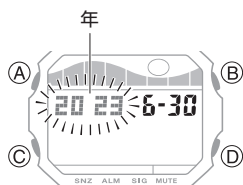


4. A ボタンを押して、タイドサーチを表示します。
5. D ボタンを押して、タイドグラフを確認したい時刻を選びます。
 - D ボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。
 - D ボタンを押し続けると、早送りできます。

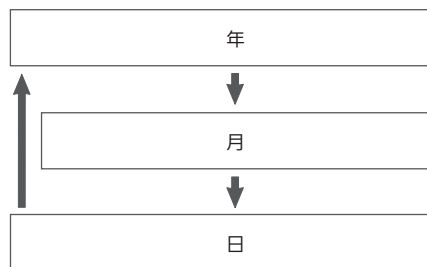


●日にちを指定して確認する

1. タイド/ムーンモードにします。
🔄 **モードを切り替える**
2. A ボタンを 1 秒以上押し続けます。
「年」が点滅します。



3. C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。
● C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



4. B または D ボタンを押して、値を変更します。
● B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
5. 手順 3、4 を繰り返して、日にちを設定します。
6. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2～3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

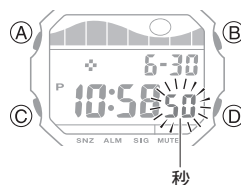
使用場所を設定する

経度と月潮間隔を設定して、使用場所(タイドグラフや月齢を調べる場所)を設定します。

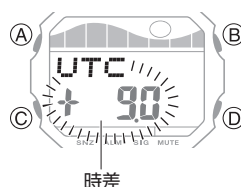
参考

- 使用場所の設定は記憶されます。ただし、引っ越しや旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせて設定し直してください。
- 工場出荷時の使用場所は、以下のよう
に設定されています。
- 東京(時差+9、経度 140°E)
- 月潮間隔 5 時間 20 分

1. 時刻モードにします。
🔄 **モードを切り替える**
2. A ボタンを 1 秒以上押し続け、「秒」が点滅したら指を離します。



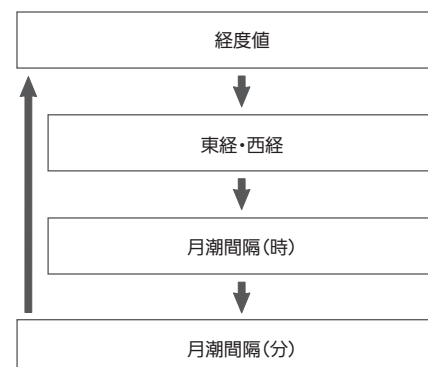
3. C ボタンを 2 回押します。
「時差」が点滅します。



4. B または D ボタンを押して、協定世界時(UTC)との時差を設定します。
● B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
● 時差は 0.5 時間単位で -12～0～+14 時間まで設定できます。
5. A ボタンを押します。
「経度値」が点滅します。



6. C ボタンを押して、変更する項目を選びます。
● C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する項目が切り替わります。



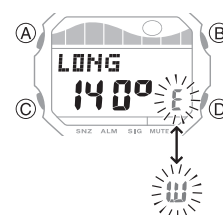
7. 値を設定します。

●「経度値」を設定する場合

- ① B または D ボタンを押して、値を変更します。
- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 1°単位で 0～180°で設定できます。1°未満の端数は丸めて入力してください。
例：経度値が「50°40'」のとき、「51°」と入力
- [LONG]
経度(Longitude)を示します。

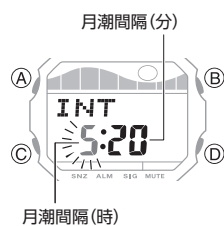
●「東経・西経」を設定する場合

- ① D ボタンを押して、[E] (東経) と [W] (西経) を切り替えます。



●「月潮間隔」を設定する場合

- ① B または D ボタンを押して、値を変更します。
 - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
 - インターネットなどの情報に合わせて、月潮間隔を設定してください。
 - [INT]
月潮間隔 (Lunitidal Interval) を示します。



8. 手順 6、7 を繰り返して、経度と月潮間隔を設定します。
9. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●月潮間隔について

理論上では、月が正中したとき (図 1) に高潮 (満潮の極限) になり、その約 6 時間後に低潮 (干潮の極限) になると言われています。ただし、実際の地球上では、海水の粘性や摩擦、海底の地形などの影響によって正中時より遅れて高潮になります (図 2)。この時間差を「月潮間隔」と呼びます。

「月潮間隔」は同じ日本国内でも地域により異なります。

図 1

月が正中したとき、潮汐力が最大になります。

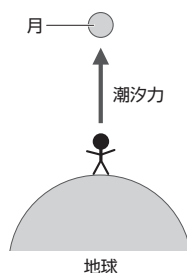
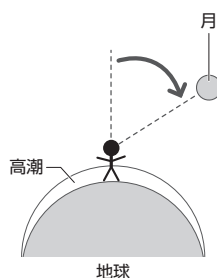


図 2

実際の高潮は、月の正中時から数時間遅れて起こります。



ストップウォッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。

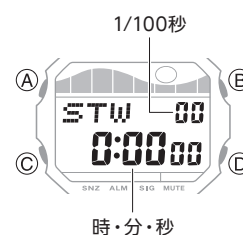
計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。



計測する

1. ストップウォッチモードにします。

🕒 モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。

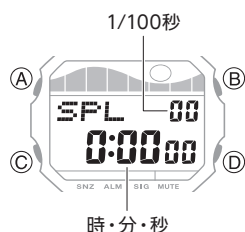
- ① スタート
- ↓
- ② ストップ
- ↓
- ③ 再スタート
- ↓
- ④ ストップ

3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

スプリットタイムを計測する

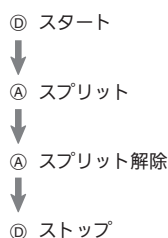
1. ストップウォッチモードにします。

🔄 モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。

- A ボタンを押すと、その時点までの経過時間(スプリットタイム)が表示されます。

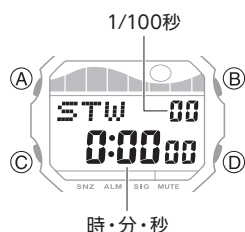


3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

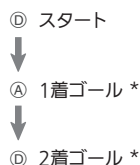
1・2 着を同時に計測する

1. ストップウォッチモードにします。

🔄 モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。



* 1 着の計測値が表示されます。

3. A ボタンを押して、2 着の計測値を表示します。
4. A ボタンを押して、計測をリセットします。

オートスタート機能を使う

スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに報音します。

1. ストップウォッチモードにします。
🔄 モードを切り替える
2. 計測リセット状態のとき、A ボタンを押します。
オートスタート表示になります。
● A ボタンを押すごとに、通常表示とオートスタート表示が切り替わります。

カウントダウン秒



3. D ボタンを押して、計測をスタートします。
5秒前からカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに報音します。

参考

- カウントダウン中に D ボタンを押すと、カウントダウンを中止して、すぐにストップウォッチ計測を開始します。
- 計測開始後は、通常のストップウォッチ計測のボタン操作と同様になります。
- 計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。



●タイマーの計測方法について

タイマーには次の2種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

●リピートタイマー(繰り返し計測)

タイムアップするとタイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。

●タイムアップ予告音について

タイマーが残り5分になると、タイムアップ予告音が鳴ります。

- 予告音はオフに設定できます。

予告音をオンに設定すると、以下のように予告音が鳴ります。

残り時間	予告音
5分10秒～5分	1秒ごと
4分～1分	1分ごと
30秒	1秒
10秒～0秒(タイムアップ)	1秒ごと

- 設定した時間が5分以下のときは、途中から予告音が鳴ります。
設定した時間が経過すると、1秒間の報音でタイムアップをお知らせします。

時間を設定する

タイマーは、1 分単位で 24 時間まで設定できます。

- タイマーで計測中の場合は、タイマーをリセットしてください。

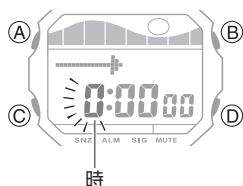
🕒 タイマーを使う

1. タイマーモードにします。

🕒 モードを切り替える

2. A ボタンを 1 秒以上押し続けます。

「時」が点滅します。

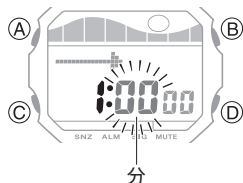


3. B または D ボタンを押して、タイマーの「時」を設定します。

- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

4. C ボタンを押します。

「分」が点滅します。



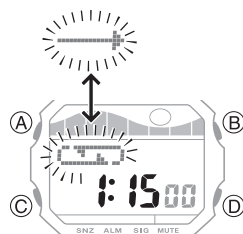
5. B または D ボタンを押して、タイマーの「分」を設定します。

6. C ボタンを押します。

[] (リピートタイマー) または [] (オートリピートタイマー) が点滅します。

7. D ボタンを押して、リピートタイマーまたはオートリピートタイマーを選びます。

- D ボタンを押すごとに、[] (リピートタイマー) と [] (オートリピートタイマー) が切り替わります。

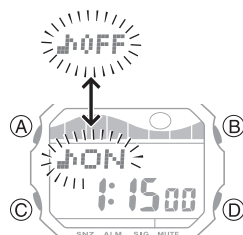


8. C ボタンを押します。

9. D ボタンを押して、予告音の「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」: 予告音が鳴ります。

「OFF」: 予告音が鳴りません。



10. A ボタンを押して、設定を終了します。

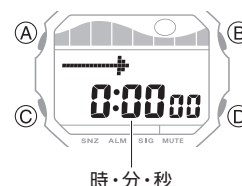
参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 「0:00:00」に設定した場合は 24 時間計測になります。

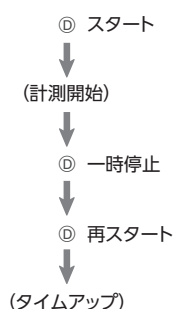
タイマーを使う

1. タイマーモードにします。

🕒 モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。



- 残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

- 一時停止中に A ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。

3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

参考

- 報音フラッシュ機能がオンの場合、タイムアップの報音に合わせてライトが点滅します。いずれかのボタンを押してタイムアップ音を止めると、ライト点滅も止まります。

🕒 報音フラッシュ機能を設定する

その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

報音フラッシュ機能を設定する

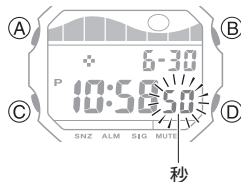
報音フラッシュ機能をオンにすると、アラームやタイマーなどの報音に合わせて自動的にライトが点滅します。

1. 時刻モードにします。

🔊 モードを切り替える

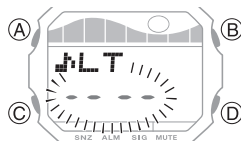
2. A ボタンを 1 秒以上押し続け、「秒」が点滅したら指を離します。

- 設定画面で、何も操作せず 2～3 分間経過すると、セット状態が解除されます。



3. C ボタンを 8 回押します。

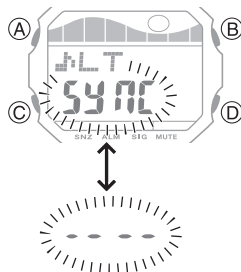
[⏸LT] が点灯し、[----] または [SYNC] が点滅します。



4. D ボタンを押して、報音フラッシュ機能をオンまたはオフに設定します。

[SYNC]: 報音フラッシュ機能がオンになります。

[----]: 報音フラッシュ機能がオフになります。



5. A ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

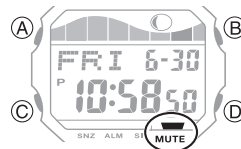
ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

- 他の設定をしているとき (表示が点滅中) やアラームなどが報音中は、設定を終了するか報音を止めてから操作してください。

1. C ボタンを 3 秒以上押し続けて、操作音のオンまたはオフを切り替えます。

- 操作音がオフのときは、[MUTE] が点灯します。



- C ボタンを押すと、モードも切り替わります。

参考

- 操作音を鳴らないように設定しても、アラームやタイマー、ストップウォッチのオートスタートの音は鳴ります。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市コード	都市名	タイムゾーン
LIS	リスボン	0
LON	ロンドン	
BCN	バルセロナ	
PAR	パリ	
MIL	ミラノ	+1
ROM	ローマ	
BER	ベルリン	
ATH	アテネ	
JNB	ヨハネスブルグ	
IST	イスタンブール	+2
CAI	カイロ	
JRS	エルサレム	
MOW	モスクワ	+3
JED	ジェッダ	
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
MLE	マーレ	
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
SIN	シンガポール	
HKG	香港	+8
BJS	北京	
SEL	ソウル	+9
TYO	東京	
ADL	アデレード	+9.5
GUM	グアム	+10
SYD	シドニー	
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレジ	-9
YVR	バンクーバー	
SFO	サンフランシスコ	-8
LAX	ロサンゼルス	
DEN	デンバー	-7
MEX	メキシコシティ	-6
CHI	シカゴ	
MIA	マイアミ	-5
NYC	ニューヨーク	
CCS	カラカス	-4

都市 コード	都市名	タイム ゾーン
YYT	セントジョンズ	-3.5
RIO	リオデジャネイロ	-3
RAI	プライア	-1

- この表は 2022 年 7 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。

仕様一覧

精度：

平均月差±15 秒

基本機能：

時・分・秒・年・月・日・曜日
午前/午後 (P) /24 時間制表示
フルオートカレンダー (2000~2099 年) *
* 年は設定時のみ表示
サマータイム設定

タイドグラフ/月齢表示機能：

タイドグラフ、月齢、時刻・日サーチ機能

ワールドタイム機能：

世界 48 都市 (29 タイムゾーン) の時刻を表示
サマータイム設定機能

アラーム機能：

時刻アラーム 3 本 (うち、スヌーズ 1 本)
セット単位 時・分・月・日
アラーム報音時間 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

ストップウォッチ機能：

計測単位
1/100 秒
計測範囲
23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計)
計測機能
通常計測、スプリット計測、1・2 着同時計測、オートスタート

タイマー機能：

計測単位 1 秒
計測範囲 24 時間
時間セット単位 1 分
リピートタイマー/オートリピートタイマー
切り替え
タイムアップ予告音オン/オフ
タイムアップを 10 秒間の電子音で報知

その他：

LED バックライト (スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え (1.5 秒/3 秒) 付き)、報音フラッシュ機能、操作音オン/オフ

使用電池：

CR1616 1 個 (電池別途販売)
公称電圧 3V
電池寿命 約 3 年
使用条件：
ライト 1.5 秒/日
アラーム
10 秒/日 (報音フラッシュ使用時)
予告付きタイマー計測 (タイムアップ 1 回)
1 回/週 (報音フラッシュ使用時)
オートスタートストップウォッチ計測
1 回/週 (報音フラッシュ使用時)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

困ったときは

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定 (スタンダードタイム/サマータイム) が正しくありません。

🔗 [ワールドタイム都市を設定する](#)

潮の干満

Q1 潮汐情報に誤差がある

タイドグラフの満潮干潮時刻、潮位は過去のデータをもとに計算しているため実際の潮汐情報とは誤差が生じます。

また、地形や天候などの条件でも誤差が変動することもありますので、あくまで目安としてお使いください。

航海など危険を左右する潮汐の判断材料には使用せずに、各種機関が発信している正確な潮汐予測情報を確認してください。

アラーム・時報

Q1 アラームが鳴らない

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

🔗 [アラームをセットする](#)

Q2 時報が鳴らない

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

🔗 [時報をセットする](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>